

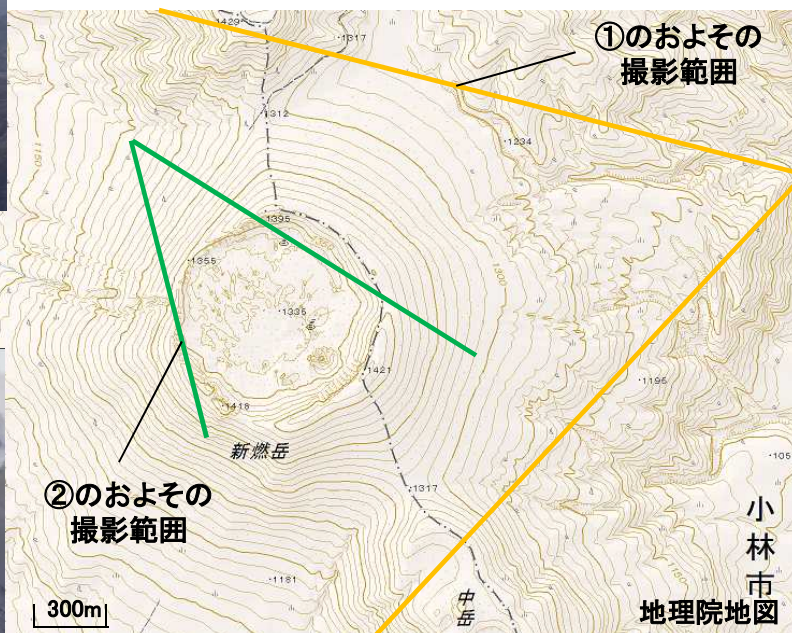
平成30年3月霧島山(新燃岳)噴火に伴う対応 (ヘリ調査)

平成30年3月9日
砂防部

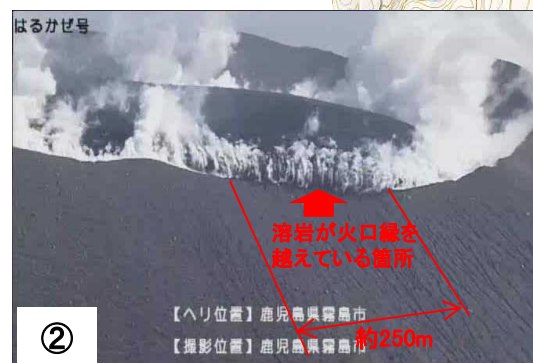
- 霧島山(新燃岳)で平成30年3月1日11時頃噴火が発生。6日から7日にかけて、爆発的噴火が34回発生したほか、6日以降、火口内で溶岩の盛り上がり確認された。
- その後、本日(9日)10時10分頃に火口の北西側へ流出する溶岩流が確認された。(噴火警戒レベルは3が継続)
- 火口付近の状況を把握するため、本日、九州地方整備局がヘリ調査を実施した結果、溶岩が火口の北西側で、目視で幅約250mにわたり火口縁を越えているのを確認した。



東側から撮影(15時頃)



火口縁を越えた溶岩の先端部分
上:15時頃 下:16時頃



北西側から撮影(15時頃)

周囲の岩の位置との比較で、15時から16時にかけての1時間で溶岩の先端はほとんど移動していないことが分かった